

編集後記

今回の特集は、「災害の記憶を伝える」をテーマとしました。災害の記憶を伝えることの重要性は、多くの場面で指摘されているものの、実際には時間の経過や世代交代などにより記憶が風化していくため、後世へ伝えることは大きな課題となっているのが実情です。しかしながら、被災地においては、災害の記憶を後世へ伝えるべく様々な取り組みが広がっています。

こうした状況を踏まえつつ、本特集では、阪神・淡路大震災、東日本大震災に加えて、全国各地の被災地で取り組まれている実務家や研究者の方に寄稿を依頼しました。また、災害の記憶を伝える様々な媒体（災害遺構、写真、展示、語りなど）を活用した実践事例や、狭義的に防災・減災に特化した内容だけではなく、災害の記憶を伝える多様な視点（英語での発信、Days-Beforeの視点、ダークツーリズムなど）に関する論考も執筆いただくことができました。

本特集が、災害の記憶を伝える新しい取り組みが広がるとともに、災害文化の形成に寄与することを願っています。最後になりましたが、多忙を極めるなか、大変貴重な原稿を寄せてくださった執筆者の皆様にお礼を申し上げます。（石原凌河）

第13号特集編集担当：石原凌河 アドバイザー：福留邦洋

学会誌編集委員会委員名簿

委員長	山崎栄一	関西大学
副委員長	北後明彦	神戸大学
副委員長	大矢根淳	専修大学
幹事	近藤誠司	関西大学
委員	石川永子	横浜市立大学
	石原凌河	人と防災未来センター
	近藤民代	神戸大学
	田中正人	株式会社都市調査計画事務所
	田並尚恵	川崎医療福祉大学
	福留邦洋	東北工業大学
	山地久美子	大阪府立大学

日本災害復興学会誌 復興 通巻 第13号 (Vol. 7 No. 1)

2014年10月23日 発行

発行者 日本災害復興学会

事務局 〒662—8501 西宮市上ヶ原一番町 1-155

関西学院大学災害復興制度研究所 内

日本災害復興学会事務局 TEL. 0798-54-6996
